ラジオ原稿

＜00:00～＞
(波音 1)

『耳をすませば』(エコー)

（BGM1 を IN、波音は FO）

＜00:15～＞
皆さん、こんばんは。『耳をすませば』ナビゲーターを務めます、
新潟大学人文学部３年宮下陽菜です。

突然ですが、皆さんは『耳をすませば』という曲を知っていますか？

この曲は去年の秋、新潟大学のイメージソングとして作られた曲で、
旧紫雲寺町、現在の新発田市出身のシンガーソングライター、笹川美和さんが
作詞・作曲・唄を手がけています。

さて、この曲、新潟大学の学生にはどの程度知られているのでしょうか？
実は、私自身、知りませんでした。
私たちが独自に行ったアンケートでも、
ことし入学した１年生への認知度は高かったものの、
２年生以上の学生にはあまり浸透していないという結果が出ました。

「新潟大学のイメージソングなのに、当の学生の私たちになじみが薄い」と
いうこの結果を踏まえ、今回、この番組を通してイメージソングを知り、
理解を深めていただければと思っています。

(BGM1・FO)

＜01:30～＞
(BGM2→話始めると同時に IN)

さて、このイメージソング、一体どのような経緯で作られたのでしょうか？
新潟大学の広報担当である、副学長の永山庸夫（つねお）先生にお話を伺ってきました。

＜01:45～＞
～副学長インタビュー流す～

＜04:30～＞
(インタビューの言葉尻で BGM3 を IN)

大学側は「学生に大学への愛着を持ってもらいたい」という思いを
イメージソングに込めたようですね。

それにしても、大学のイメージソングの制作が日本初の試みだったとは驚きです！

そんな日本初の試みに協力していただいたシンガーソングライター、
笹川美和さんにもお話を伺ってきました。

＜04:55～＞
～笹川さんインタビュー①流す～

＜08:10～＞
笹川さんはご自身が新潟大学に対して抱いているイメージを、
率直に歌にこめてくださったようですね。

さて、私たちは学生へのアンケートの中でこの曲を聴いた感想も聞いてきました。
これらの感想を笹川さんにお伝えし、学生の声に対するコメントを頂いてきました。

＜08:30～＞
～笹川さんインタビュー②流す～

(BGM3・FO)

＜09:45～＞
(波音 2)

打ちよせる波の様に　未来は、変わる
吹き続く風に乗って　未来は、変わる

（一息おく）（この辺りから波音 FO）

私はこの曲を聴いたとき、
ゆったりとした曲調と前向きな歌詞が
学生の背中を押してくれる新潟の海風のように感じました。

（一息おく）（曲紹介は無音）

笹川美和、作詞・作曲・唄、新潟大学イメージソング『耳をすませば』

＜10:20～＞
～曲流す～
最後の大サビ後でボリューム下げる

いかがでしたか？
皆さんはこの曲にどんな想いを、どんな風景を描くのでしょうか。

私はこの曲が、未来への一歩を踏み出すための応援歌として、
また、大学生活や新潟をふと思い出すきっかけとして、
今、ここから、皆さんと新潟をつなぐものになってほしいと思います。

＜15:40＞
終了予定